



平成 30 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 安川情報システム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 諸星 俊男  
(コード番号 2354 東証第 2 部)  
問合せ先 管理本部経理部長 原 英明  
(TEL. 093 - 622 - 6111)

## 法人税等調整額（益）の計上及び連結業績予想の修正並びに個別業績予想に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期決算において、下記のとおり法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年4月14日に公表しました平成30年2月期（平成29年3月21日～平成30年2月28日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

個別業績予想につきましては、平成 29 年 4 月 14 日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表時点で開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比におきましてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 法人税等調整額（益）の計上について

当社は、当連結会計年度より適用している「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）により、今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が認められる部分について繰延税金資産を追加計上することになりました。これにより平成 30 年 2 月期において法人税等調整額（益）を 670 百万円計上する見込みです。

#### 2. 平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 21 日～平成 30 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	14,000	450	450	300	16.67
今 回 修 正 予 想 (B)	12,500	350	350	880	48.88
増 減 額 (B-A)	△1,500	△100	△100	580	—
増 減 率 (%)	△10.7	△22.2	△22.2	193.3	—
(ご参考) 前期連結実績(平成 29 年 3 月期)	13,421	876	878	711	39.51

(注) 当社は、平成 29 年度より決算期（事業年度の末日）を 3 月 20 日から 2 月末日に変更しました。従いまして、経過措置となる平成 30 年 2 月期は、11 ヶ月 8 日間の決算期間となっております。

3. 平成30年2月期通期個別業績予想（平成29年3月21日～平成30年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	12,578	807	891	755	42.00
今 回 修 正 予 想 (B)	12,000	190	270	870	48.32
増 減 額 (B-A)	△578	△617	△621	115	—
増 減 率 (%)	△4.6	△76.5	△69.7	15.2	—

(注) 当社は、平成29年度より決算期（事業年度の末日）を3月20日から2月末日に変更しました。従いまして、経過措置となる平成30年2月期は、11ヶ月8日間の決算期間となっております。

4. 業績修正及び差異が生じた理由

平成30年2月期の通期連結業績予想につきましては、売上高においては、ビジネスソリューション事業は前年度より増加したものの、IoTソリューション事業において、お客様の本格的な導入に至るまで時間を要していること等により、前回予想を下回る見通しとなりました。営業利益、経常利益についても売上高の減少により、前回予想を下回る見通しとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記「1. 法人税等調整額の計上」のとおり法人税等調整額（益）670百万円の計上等により、前回予想を上回る見通しです。

当社は連結業績に占める個別業績の割合が高く、個別業績についても、上記理由により、前期実績との大幅な差異が発生したことから、あわせて開示をいたします。

なお、配当予想につきましては、平成29年4月14日公表から修正はありません。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上